

12月には、小中学校ともに個別懇談会があります。保護者が来校し、担任と直接話ができる懇談会は、どの学年でも貴重な機会です。保護者の方が、「担任の先生はうちの子を温かく見てくれている」と感じれば、学級づくりの一層の協力者となります。また、インフルエンザ等の感染症が流行し始めるのも、この時期です。予防の取組を通して、クラスのまとまりを強めましょう。



<小学校>

子どもに対する温かさ 細かい配慮が伝わる懇談会に！

限られた懇談時間の中でも、保護者が「先生と話してよかった！」と思ってもらえる懇談会にしましょう。

【廊下・教室の環境にも配慮をしましょう】

○子どもたち全員の作品が位置付くように事前確認をしましょう。展覧会出品中の子どもの作品についての配慮も適切にしましょう。

【学校生活への期待や意欲がもてるように】

○学年会での事前の打合せをしっかりと行い、具体的な一人一人のよさを活動の姿で伝えましょう。

「〇〇に対して、△△のようにがんばっていますよ。」

(学習、宿題、清掃、当番活動、友だち関係等)

【保護者の悩みを真摯に受け止めましょう】

○保護者の願いや悩みを親身になって聞き、共感しながら、指導の方向や家庭での支援について話し合しましょう。



ノロウイルスになんか負けないぞ

冬期に流行するノロウイルス等による感染性胃腸炎。学級活動の時間に予防策を確認しましょう。

指導のポイント

- 1 石けんを使ってしっかりと手洗いをする。
- 2 具合が悪い人は、給食当番をしない。
- 3 日頃から、早寝に心がけ疲れをためない。
- 4 もし、吐いてしまった人がいても、処置は先生に任せ、近づかないようにする。

○給食前に手洗いができたかどうか事後評価することが大切です。グループごとに「見返しカード」を用意し、互いに声をかけ合って手洗いに取り組むようにするのも一つの方法です。

○気持ちを一つにした感染予防の取組は、まとまりのあるクラスづくりにもつながります。



<中学校>

生徒の願いや悩みを受け止め、 解決の見通しがもてる懇談会に！

中学校生活は、あっという間の3年間です。1回の懇談会を有効な機会ととらえ、保護者との信頼関係を築きましょう！

【伸びてきた姿を具体的に伝えましょう】

○「〇〇をがんばっていて、◇◇な力が付いていますね。」

・学習、部活動、清掃、当番活動等のがんばりの姿を伝えましょう。

・責任感、継続する力、優しい心等、育ってきていることと結び付けて話しましょう。

【生徒の願いや悩みをしっかりと受け止めましょう】

○生徒の願いや悩みを保護者と一緒に受け止め、解決への見通しがもてるようにしましょう。
・特に進路に関すること、友人関係については、普段の様子をしっかりと把握しておきましょう。



クラスで進めるインフルエンザ予防

学級会でクラスの取組目標を決め、一体となって取り組むことは、予防のために重要であるとともに、クラスのまとまりを強めることにもつながります。

取組目標の例

- 1 「せきエチケット」を心がけよう。
- 2 流水、石けんによる手洗いを心がけ、インフルエンザウイルスを除去しよう。
- 3 加湿器などを使って湿度50%~60%を目指そう。
- 4 十分な休養とバランスのとれた食事を心がけ体の抵抗力を高めよう。
- 5 人ごみや繁華街への外出を控えよう。



○保健係が仲間の体調をこまめに観察し、気を配ることは温かな学級づくりにもつながります。